

## 銀座地区及び築地地区合同まちづくり協議会

### 1. 日時

令和8年4月21日（火）午後2時～午後3時20分

### 2. 場所

築地社会教育会館 講習室

### 3. 出席者

[構成員]	29人
[都・区関係者]	43人
[事業者]	4人
[オブザーバー]	14人
	計90人

### 4. 議事等

#### (議事)

- |                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| (1) 築地地区まちづくり事業について             | 【資料1】 |
| (2) 築地・銀座エリアにおける歩行者ネットワーク形成について | 【資料2】 |
| (3) 築地市場跡地開発および都市基盤整備の進捗について    | 【資料3】 |

### 5. 質疑応答

#### 《議事(1)(2)(3)》

①質問が2つある。築地市場跡地開発周辺の交通問題の解決に目を向けていただきたい。銀座通りに観光バスが渋滞している。銀座通り周辺には観光バスの駐車場が無い。築地市場跡地開発の敷地内で観光バスの駐車場を設置していただけないか。また、高速晴海線の出口が築地市場跡地開発の敷地内で計画されているが、出口付近が渋滞し、それが晴海通りに悪影響を及ぼさないように高速道路を出た車両を受け止める空間を敷地内に確保するとか、ドライバーの選択肢を増やすとか、計画でどのように検討されているのか。また、意見として、築地市場跡地開発に来た人が全員銀座に来てほしいというわけではない。築地に来た人がストレスなく帰宅していただくことを第一に考えていただきたい。晴海通りについては、今でも渋滞しているので、工事車両を含めた渋滞対策を講じていただきたい。晴海通りは一貫したコンセプトの下、歩いて楽しい通りになるように東京都さん、事業者さんには考えていただきたい。

⇒観光バスの駐車場については、敷地上の制約もあるが、設ける方向で検討しており、次回以降ご説明する。高速道路の出入口については、築地跡地開発とは別事業になっているので事業者として詳細について把握できているところではありませんが、どういう形であっても連携して、交通問題の解決の仕方を敷地の中で考えていきたい。(事業者)

②観光バスの駐車場については、何台くらい造るのか、また、その駐車場からのシャトルバスも検討するなど、運用や仕組みも検討していただきたい。

⇒高速晴海線は、臨海部に位置する広域防災拠点とのアクセス強化という観点からもTOKYO強靱化プロジェクトの一環として位置づけられている。首都高とは昨年、協定書も締結し、2030年代前半までの事業着手を目指している。築地など周辺のまちづくりとも調整を図りながら進めて

いきたい。高速道路の出入口の取扱いについては、築地のまちづくりにとって重要である一方で、高速道路の広域的なネットワークという観点のチェックもしていかなければならない。将来の交通需要や既存出入口との交通分担を踏まえて、ルート、道路構造の検討、交通量推計等を行っており、築地付近の都心方面の出入口については、設置の必要性を含め検討することとしている。（東京都築地まちづくり推進担当部長）

③2033年に築地市場跡地開発の第一期まちびらきをしたいという話を伺った。高速晴海線、都心・臨海地下鉄新線の問題があり、こちらの完成は2040年代の予定と伺っている。7月いっぱいまでに合意書を締結して、都市計画手続きを進めることは認識している。いつまでも塀で囲まれているのは困るので、進めていただきたいところである。高速晴海線、都心・臨海地下鉄新線が計画されている場所は、建築制限区域エリアが2033年の時点でどのような状態になるか示されていないが、築地ゲートをしっかりつくり込んでいただきたい。地元としては、波除神社の横に高速の出口を設置すると、まちを分断してしまうので、造らないでいただきたいと思っている。今後、出入口の設置の必要性について十分検討していただきたい。

⇒築地ゲートについては、今後東京都とも調整をしながら、築地場外とつながりを持った形で工事ができるように、通れるところを確保しつつ、ローリングしながら計画を考えていきたい。まちの分断は避けたいと思っているので、例えば一部蓋を掛けたりすることも含めて今後関係各所と検討しながら調整をしていく。（事業者）

④歩行者デッキは歩行者の安全性のために有効だと思うが、銀座方面から歩行者デッキを歩いて歩行者が直行していくようでは、デッキ下のまちが死んでしまうことになる。歩行者デッキから、デッキ下の地上にある築地場外市場の店舗への誘導をどのように図っていくのかご検討いただきたい。築地魚河岸は、豊洲市場の補填をしており、プロの方が大勢、築地魚河岸で買い物をされている。豊洲市場は駐車場エリアが狭いことなどが理由で、プロの人が買い物に行きたくてもいけない状況になっている。築地の観光や開発とは別問題として、プロの人に買い物に来てもらえるように駐車場などのインフラ整備をやっていただきたい。

⇒中央区としては、築地市場跡地開発と築地場外市場とが共存共栄を図れるようにしたいと考えている。令和7年9月に公表した「築地市場跡地開発に関連する要望書の具体的イメージ」で示したデッキの大階段は、まちのつながりをイメージしているものであり、そのような仕組みを今後つくっていききたいと考えている。（中央区副区長）

⑤築地銀座エリアにおける歩行者ネットワーク形成について、今般、都市基盤整備方針の検討会が設置されるが、地元の意見を集約して総意をまとめることが必要と考える。歩行者デッキについては、高齢者や乳母車利用者に配慮してどのような整備を行うのか、ご見解をお伺いしたい。5万人収容の大規模集客施設ができることに対して、JR新橋駅方面への人の流れをどのように確保するのかについて、お考えをお聞かせいただきたい。エリアマネジメント準備会が設立されるようだが、計画が決まる前に近隣町会と意見交換する機会を設けてほしい。

⇒高速晴海線がこの場所、築地社会教育会館の下の非常に浅い位置を通ることになる。築地市場跡地開発の計画地にどのようにアクセスするかが大きな課題となっている。地下30m以上という非常に深いところを通る地下鉄新線とどのように接続するかも大きな課題である。本日、様々なご意見をいただいているが、課題は山積している。今年の夏に全部決めるのではなく、今年の夏から、一つ一つ物事を決めていき、それを前提として順番に物事を固めていきたいと考えている。このような会合に皆様にご参加いただいで一緒に考えていきたい。ご協力いただきたい。（中央区副区長）

⑥従前から高速晴海線の出口に反対しているが、築地場外市場とこの築地市場跡地開発の計画との間には幅70mという建築制限区域があり、跡地のにぎわいと場外のにぎわいが分断されてしまうという心配がある。一期まちびらき時と最終形で段階的にどうなるかイメージできるように提示してほしい。高速出口については、周辺の出口が混んでいるようには見えないの

で、計画地の中につくる必要性を感じない。出口をつくる必然性については、しっかり検討していただきたい。今後の検討のスケジュール感について教えていただきたい。

⇒高速道路の出口については、まず初めに検討をして結論を出さないと次に進めないなので、十分に東京都、首都高速道路株式会社と話し合いをはじめていく予定である。（中央区副区長）

⇒高速晴海線については、道路のネットワークとまちづくりの両面での整理が必要で、検討状況など可能な範囲で逐次お話させていただきたい。（東京都築地まちづくり推進担当部長）

#### 《その他》

- ・特になし

以上